

## 観光創造専攻

平成 20 年度  
前 期

日本語論述

13:30 ~ 15:30

### 解答上の注意

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
- 2 問題紙は、この紙を含めて 2 枚である。
- 3 解答用紙（25 字×40 行=1000 字）は、2 枚ある。
- 4 解答用紙は、2 枚とも必ず提出すること。
- 5 受験番号は、すべての解答用紙の指定された個所に必ず記入すること。
- 6 選択した問題番号は、すべての解答用紙の指定された個所に必ず記入すること。
- 7 解答は、すべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
- 8 下書き用紙は別途配布されるが、問題紙の余白を下書きに使用してもさしつかえない。
- 9 問題紙および下書き用紙は持ち帰ること。

以下の問題 1～3 のうちから 1 題を選択し、1600～2000 字の日本語  
(横書き)で解答しなさい。

【問題 1】

ブラジルのリオデジャネイロで 1992 年に開かれた「環境と開発のための国連会議」以降、観光分野でも「持続可能な観光」の実現が課題となっている。そこで、観光における持続可能性とは何かを説明したうえで、なぜそれが観光分野で必要とされているのか、持続可能な観光の例をあげて、わかりやすく説明しなさい。

【問題 2】

文化財や歴史遺産は観光資源として優れており、以前から観光対象となってきた。そこで、観光資源として文化財や歴史遺産を活用している例をあげたうえで、観光地・観光客・観光産業にとってのメリットとデメリットを論じなさい。

【問題 3】

地域主体の地域活性化や地域振興が重視されているが、一部の大都市圏以外は必ずしも豊かになったわけではなく、都市部と非都市部での格差が広がっている。こうした中で、地域が主体的に地域振興をするために、観光が貢献できる可能性とその際に起こりうる問題点について論じなさい。